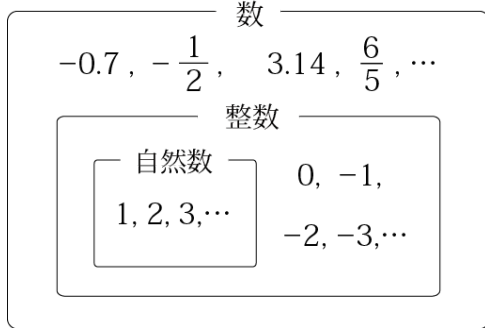


☆数のひろがりとお四則

それにふくまれるかどうかをはっきりと決められるものの集まりを、集合という。

(集合の関係) ※ 正の整数を自然数という。



① 整数の集合には、自然数の集合が含まれます。

② 数全体の集合には、整数の他に小数や分数が含まれます。

(四則計算と自然数の集合)

右の表は、自然数、整数、数全体の集合について、加法・減法・乗法・除法の計算を考え、いつでも計算ができるものには○を、いつでも計算ができるとは限らないものには×をつけたものである。

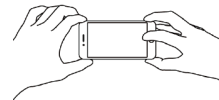
※ 0 であることは考えないものとする。

	加法	減法	乗法	除法
自然数	○	× (例) 1-2	○	× (例) 1÷2
整数	○	○	○	× (例) 1÷2
数	○	○	○	○

デジタル板書データ (youtube動画)

『正負の数 (数の集合とお四則)』

動画QRコード



1 次の数について、あとの問いに答えなさい。

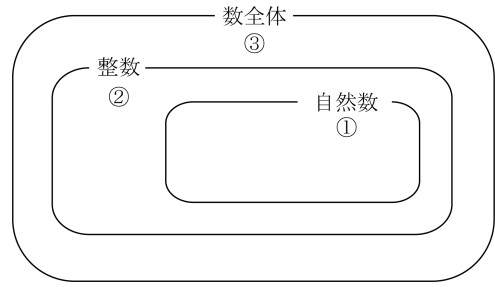
$$0 \quad +5 \quad -3.5 \quad -1 \quad -\frac{5}{2} \quad +1 \quad +\frac{16}{3}$$

(1) 自然数の集合にふくまれるものをすべて答えなさい。

(2) 整数の集合にふくまれるものをすべて答えなさい。

2 次の数について、あとの問いに答えなさい。

+4	-0.6	0	-3	$-\frac{1}{5}$	+5
----	------	---	----	----------------	----



- (1) 自然数の集合①にあてはまる数をすべて答えなさい。
- (2) 整数の集合②にあてはまる数をすべて答えなさい。
- (3) 数全体の集合③にあてはまる数をすべて答えなさい。

3 次の計算結果がつねに正の数になるものは○、負の数になるものは×、どちらとも限らないものには△を書きなさい。

- (1) (正の数)-(負の数) (2) (負の数)-(正の数) (3) (正の数)-(正の数)

4 a, b が整数のとき、次のア～エのうち、計算の結果がいつでも整数になるものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア $a + b$ イ $a - b$ ウ $a \times b$ エ $a \div b$

5 自然数の集合、整数の集合、数全体の集合について、加減乗除のそれぞれの計算がいつでもできるときは○、そうでないときは×を書き入れなさい。ただし、0でわる場合は除く。

	加法	減法	乗法	除法
自然数の集合				
整数の集合				
数全体の集合				